

集落を守る環境作りと自然循環型農業の実践

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	京都府 <small>よさぐんよさのちやう</small> 与謝郡与謝野町 <small>あつえ</small> 温江			
協定面積 54.6ha	田(100%) 水稻 他	畑	草地	採草放牧地
交付金額 940万円	個人配分 共同取組活動 (60%)			40%
		役員報酬		5%
		電気柵設置・管理費		3%
		水路・農道の草刈・清掃等の管理費		10%
		農道舗装・水路補修経費		25%
		京の豆っこ肥料購入経費・桜・水仙の管理費		11%
		耕作放棄地防止対策		2%
		土作り・稲刈り体験他		4%
協定参加者	農業者 83人、水利組合 3人 1農事組合 小学校 1機械・施設共同利用組織			

2. 取組に至る経過

当集落では、集落全域が中山間地域であり、兼業農家が大半を占め、高齢化が進行している状況であったことから、農業を行いやすい環境作りが重要であると考え、管理に経費と労力がかかっていた農道舗装を最優先で実施することとし、さらに、個々の対応では難しい獣害対策を集落単位で取組むなど、安心して農業生産活動が行える施設整備に取り組みすることとした。

また、米価下落に対応するため、高付加価値農業による所得向上を図るとともに、地域内交流施設を活用した都市農村交流の実施などにより、集落で農地を守る意識づけと体制作りを行ってきた。

3. 取組の内容

与謝野町では、売れる米づくり（高付加価値農業）として自然循環農業に取り組んでおり、集落では、町が製造している有機質肥料「京の豆っこ」を使用した「京の豆っこ米」を集落内で普及させる取組みとして、肥料購入費の半額を交付金から助成する取り組みを行っている。

また、桜の植樹・管理や水仙の作付けを実施するなど多面的機能増進活動に取り組んでいるほか、集落全体を囲む電気柵の設置や農道舗装、水路改修による農業生産活動の環境づくりを行うとともに、地域施設の利用促進と米の販売促進を目指し、田植・稲刈り体験による都市農村交流や地元小学校との連携による土作り教室にも取り組んでいる。



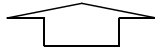
田植・稲刈り体験



農道舗装

[集落の将来像]

高齢化が進み、兼業農家が多い温江の農地を守るために、より良い農業生産環境作りを実施する。有機質肥料『京の豆っこ』を使用した高付加価値農業を進め、機械等共同利用等により集落で農地を守る体制作りを進める。また、スイセン作付・都市住民等交流を引き続き実施し、多面的機能の増進を図る。



[将来像を実現するための活動目標]

耕作放棄防止：耕作者等が責任を持ち管理する。(耕作放棄地が発生しかけた場合は集落で対応)

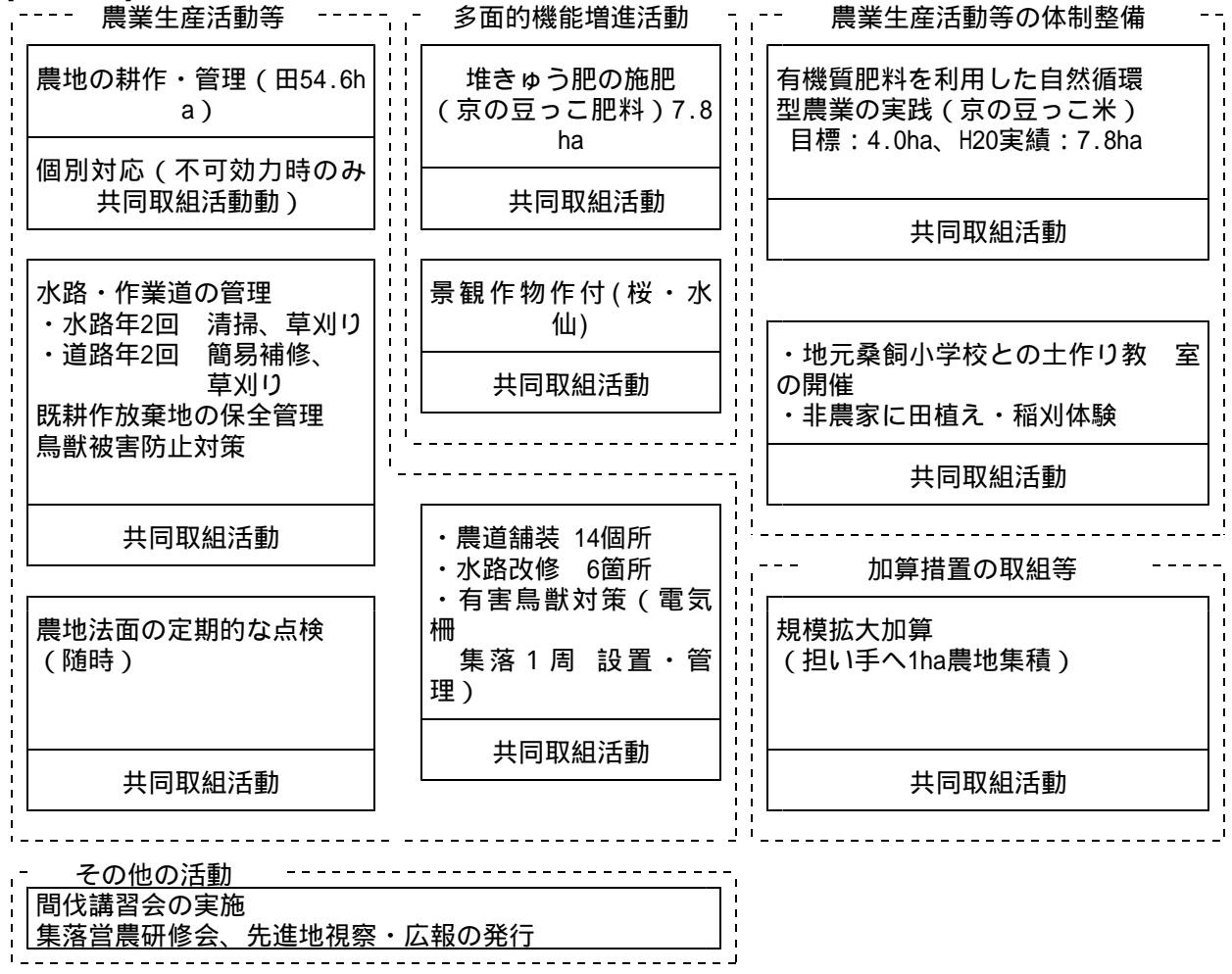
水路・農道等の管理：農道舗装・水路清掃、水路・農道の草刈・補修を実施

多面的機能増進活動：有機質肥料『京の豆っこ』を使用した自然循環農業を実施

共同機械・施設利用：経費削減を図るために、機械の共同利用を進める。

鳥獣被害対策：既に集落全域にて電気柵を設置あり、引き続き被害対策に努める。

[活動内容]



4 . 取組による変化と今後の課題等

集落を関係のある農家全員で守るという意識が高揚し、多くの農家によって農地を管理することで集落の環境が守られている。

耕作放棄地は発生していないものの、制度開始時と比べさらなる高齢化が進んだことを認識して、集落を守る新たなプランを作成する必要がある。

[平成20年度までの主な成果]

- ・農道舗装の実施：約1800m完成。次年度以降700m予定
- ・京の豆っこ米の取組み面積 (当初 2.6ha 目標 4.0ha、H20実績 7.8ha)
- ・田植・稲刈体験の実施参加者の増 (当初77名、H18 94名、H19 132名、H20実績 134名)
- ・獣害対策として、集落一円に電気柵を設置し、効率のよい獣害対策を実施